

光量子科学連携研究機構 (UTripl) セミナー
光量子科学研究センター (PSC) セミナー・フotonサイエンス研究機構 (IPST) セミナー
コヒーレントフoton技術によるイノベーション拠点 (ICGPT) セミナー
光量子科学によるものづくり CPS 化拠点 (STELLA) セミナー
東京大学統合物質科学リーダー養成プログラム (MERIT) セミナー
最先端融合科学イノベーション教育研究コンソーシアム (CIAiS) セミナー
TACMI コンソーシアム オープンセミナー

量子コンピュータと量子通信の現状 —これからの発展のために—

井元 信之 氏

東京大学 理学系研究科 フotonサイエンス研究機構

日 時： 2019年5月10日(金) 10:30～12:00

場 所： 東京大学理学部1号館2階201b講義室

【概要】

量子コンピュータおよび量子通信は、現行の(量子でない)コンピュータや通信のどんな限界を突破しようとしているのか、その原理・種類・使い道・開発状況・世界情勢について、研究者目線から社会目線まで、時には俯瞰的に時には突っ込んで、また時には情報目線で時には光・物質目線で、多様な側面を持つこの分野を数回にわたって紹介したい。

初回(5月10日)は、量子情報分野の概観および「量子でない」方法の問題点にフォーカスし、その意味やルーツの大本に遡って、この分野がどのように生まれ、発展・変貌して来たかを概観したい。それにより二回目以降の話の立ち位置をナビゲートする地図あるいは目次の役割に供したい。併せて、「量子でない」情報処理や通信で実現が難しいとされるタスクをいくつか紹介し、今は「量子でない」やり方でそれらをどのように行っているのか、それらの方法はどこに限界がある(ありそう)なのかを紹介し、二回目以降の話に繋げることを目論みたい。

使用言語 : 日本語

紹介教員 : 湯本潤司 教授 (理学系研究科物理学専攻)

本件連絡先 : psc-office@psc.t.u-tokyo.ac.jp

※本セミナーはオープンですが、記録のため参加者のお名前、ご所属を当日ご記入いただきますのでご了承ください。